

平成25年度 石狩市教育委員会会議（2月定例会）会議録

平成26年2月14日（金）
第2委員会室

開 会 午前10時00分

○委員の出欠状況

委 員 氏 名	出席	欠席	備 考
委員長 徳 田 昌 生	○		
委 員 門 馬 富士子	○		
委 員 松 尾 拓 也	○		
委 員 山 本 由美子	○		
教育長 鎌 田 英 暢	○		

○会議出席者

役 職 名	氏 名
生涯学習部長	百 井 宏 己
生涯学習部次長	柴 口 史 子
総務企画課長	上 田 均
学校教育課長	蛭 谷 学 俊
社会教育課長	東 信 也
文化財課長	工 藤 義 衛
厚田生涯学習課長	池 垣 旬
浜益生涯学習課長	尾 崎 巧
教育支援センター長	西 田 正 人
特別支援教育担当課長	森 朋 代
学校給食センター長	成 田 和 幸
市民図書館副館長	丹 羽 秀 人
市民図書館副館長	板 谷 英 郁
生涯学習部参事	千 葉 則 正
総務企画課総務企画担当主任主査	吉 田 雅 人
総務企画課総務企画担当主査	高 石 康 弘
公民館公民館担当主査	樋 口 潤 作

議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 議案審議

議案第 1 号 石狩市学校給食施設の整備について

議案第 2 号 石狩市社会教育委員条例の一部改正について

議案第 3 号 平成 25 年度一般会計補正予算（第 7 号補正）について

議案第 4 号 平成 26 年度教育行政執行方針について

議案第 5 号 平成 26 年度一般会計予算について

報告第 1 号 教職員の処分について（結果）

日程第 3 教育長報告

日程第 4 報告事項

① 平成 25 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

日程第 5 その他

日程第 6 次回定例会の開催日程

開会宣告

（徳田委員長）ただいまから、平成 25 年度教育委員会会議 2 月定例会を開会します。

日程第 1 会議録署名委員の指名

（徳田委員長）日程第 1 会議録署名委員の指名ですが、松尾委員にお願いします。

日程第 2 議案審議

(徳田委員長) 日程第2 議案審議を議題とします。

議案第1号 石狩市学校給食施設の整備について

(徳田委員長) 議案第1号 石狩市学校給食施設の整備について、提案願います。

(鎌田教育長) 議案第1号 石狩市学校給食施設の整備についてですが、1月29日開催の本会議において審議をいただき、翌30日に学校給食センター運営委員会に諮問をしたところですが、去る2月10日に答申を受けましたので、今後とり進める学校給食施設の整備の基本的な考え方について、石狩市教育委員会事務委任規則第1条第1号の規定に基づき議決を求めるものです。よろしくご審議賜りたいと存じます。詳細については、担当から説明いたします。

(成田センター長) 議案第1号 石狩市学校給食施設の整備について、説明します。このことについて、今後、教育委員会において具体的な整備を進めるに当たり、その考え方の案について、学校給食センター運営委員会のご意見をいただくため、1月30日に諮問をしたところですが、今回の諮問は、予め「石狩市学校給食施設の整備の考え方」と題した資料を各運営委員に配付し、それを基に運営委員会でご検討をいただきました。運営委員会では、ご熱心なご意見をいただき、その内、特に要望があった答申書に記載の内容については、附帯意見として加えられ、2月10日に答申をいただきました。答申につきましては、本日配布の資料の1頁に記載のとおりですが、妥当との内容となっております。附帯意見として、3点記載されております。1点目は、国の栄養教諭配置基準の拡充について、関係機関等への要望を検討されたい。2点目は、施設の整備には多大な費用を要することから、施設設備について、十分な検討を図られたい。3点目は、運用に関しては、衛生管理・調理業務などについて、十分な検討を図られたい。以上の3点です。つきましては、当初案として作成した「石狩市学校給食施設の整備の考え方」に答申の附帯意見や運営委員会が出されたご意見を最大限反映させていただくことを基本に、改めて、本日提案させていただきたいと存じます。具体的な変更点は、議案5頁の「(2)給食の目的、時代の要請等」の内、地産地消の欄ですが、「学習啓発」の中に生産者や農漁業団体などと連携した食育を追加しています。また、「(3)運営」の欄に、「民間の活力を導入」の中で、衛生管理や栄養士関係について追記し、「(4)栄養教諭配置基準」という項目を追加し、現行の国の配置の拡充について検討することを記載したところですが、その他、全体の中で何点か文言の整理をしました。整備の考え方の説明については、以上ですが、ご決定をいただいた後は、具体的なスケジュールを組むなど、その実現に向け作業を進めていきたいと存じます。その内容については、適宜ご報告し、または、ご議論

をいただきたいと存じます。以上、よろしくご審議を賜りたいと存じます。

（徳田委員長）ただいま、提案説明のありました議案第1号につきまして、ご質問等ありませんか。

質疑応答

（門馬委員）附帯意見の説明がありましたが、その他に、そこまでには至らないまでも、話題になったことや、今後事業を進めるに当たり、注意すべきと指摘された点などの発言はありましたか。

（成田センター長）建設に当たっては、その費用などについて、十分配慮して、ことに当たるようにということや、検討の方法の中で、今後運営委員会を始めとして、専門家やアドバイザー、市民の皆様から意見をいただく用意がありますが、関係団体とは、どのような団体かという質問を受け、例として「学校給食を考える会」などを紹介しましたし、保護者からの意見を聴く場面はあるのかという質問を受け、各学校のクラスごとのPTAの給食試食会を行っていますので、そのような中でアンケートいただくなどの手法をとりたいというお答えをしたところでした。

（松尾委員）先ほどセンター長が、決定以降は具体的スケジュール等も含め、お示しをしながら検討を進めていくということをおっしゃっていましたので、そのようにお願いしたいと思います。

（徳田委員長）資料の5頁の「(2)給食の目的、時代の要請等」の「災害時の対応」ですが、支援施設機能を持たせるということで、災害時に何食分を想定しているとか、そういった具体的なものは、あるのでしょうか。

（成田センター長）ここで想定しているのは、いわゆる、炊き出しのことです。ご飯を炊いておにぎりなどを作るというのが、おそらく現実的な支援になると思いますが、炊き出しのための釜の規模などを一体どの程度にするか、規模が大きくなると、そこにかかる要員にも影響しますので、容量については、今後の具体的な検討の中でつめていきたいと思います。現時点では、まずは炊き出しを想定ということまでです。

（徳田委員長）他に質疑等がないようですので、議案第1号については、原案どおり可決ということによろしいでしょうか。

異議なし

（徳田委員長）ご異議なしと認め、議案第1号については、原案どおり可決しました。

議案第２号乃至報告第１号の審議を非公開とする件について

（徳田委員長）議案第２号の石狩市社会教育委員条例の一部改正に関する件、議案第３号の平成２５年度一般会計補正予算（第７号補正）に関する件、議案第４号の平成２６年度教育行政執行方針に関する件、議案第５号の平成２６年度一般会計予算に関する件の以上４議案については、いずれも石狩市教育委員会会議規則第１５条第１項第５号に該当します。また、報告第１号の教職員の処分に関する件は、石狩市教育委員会会議規則第１５条第１項第１号に該当します。以上５議案につきましては、非公開案件として、後ほど審議いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

異議なし

（徳田委員長）ご異議なしと認め、非公開とすることに決定しました。

（徳田委員長）以上で、日程第２ 議案審議を終了します。

日程第３ 教育長報告

（徳田委員長）日程第３ 教育長報告を議題とします。教育長から報告をお願いします。

（鎌田教育長）

- １月３１日 学力向上拡大チーム会議
- ２月 １日 第２８回花川南地区少年少女意見発表会
- ２月 ９日 あつた中央クリニック社会貢献賞受賞祝賀会
- ２月１２日 管内教育実践奨励表彰式
- ２月１３日 ぽぽらーと（ひとまちつなぎ）からの寄贈本贈呈
創価学会厚田区学校図書寄贈表敬訪問

以上です。

（徳田委員長）ただいま、教育長から報告がありましたが、この件について、ご質問等ありませんか。

質疑応答

(松尾委員) 学力向上拡大チーム会議の構成メンバーと内容について、伺います。また、厚田区の学校に本を寄贈いただいた件について、各校に300冊となると結構な量だと思いますが、書架スペースなどは、十分にあるのでしょうか。

(鎌田教育長) 図書の寄贈の件については、300冊となると結構な量になるのですが、厚田小については、ご承知のとおり、あいこぜ図書館ということで、地域開放型の図書館となっております。司書がおりまして、蔵書はきちんと整理されています。他の学校については、これからと聞いております。実は創価学会から全ての学校に書架も併せて寄贈を受けていますので、それを利用して図書が整頓される予定です。学力向上拡大チーム会議については、私は出席しておりませんので、柴口次長から説明したいと思います。

(柴口次長) 石狩市学力向上拡大チーム会議について、報告します。これは、学力向上に成果のある取組はどんなものかを話し合うことを一番の目的としています。今回の拡大チームの中では、3点ほどの柱を基に話し合いました。1点目は、学力サポートセミナーを年に2回、石狩市の主催で石狩教育局から説明にお見えになって、教務担当の方を中心に全校から出席いただき、説明を聴き、話し合うというものです。そういう所から感じることにについて、話し合います。2点目は、自校の取組、他校の取組、あるいは、他市町村の取組で非常に成果があると思われることや大事だと思うことを出していただきました。3点目は、本市で行っている教職員を対象としたセミナー、サマーセミナー、ウィンターセミナー等でどういうものを取り上げたら良いかということについて、話し合いました。メンバーは、小中とも校長先生・教頭先生、教育委員会からは、次長、参事、学校教育課長、学校教育主事2名が入っています。学校教育主事が入っているのは、全校に年3回から4回、局の指導主事とともに学校訪問をして授業を見せてもらい、学校経営の話しを伺っておりますので、そういった中からも非常に成果があると思われる取組について、学校教育主事からも感じたことを話してもらいました。

(門馬委員) 管内教育実践奨励表彰式について、教育実践奨励とは、どういうものですか。

(鎌田教育長) 毎年、石狩教育局で優れた実践活動により、学校教育、社会教育の向上に貢献された学校や教員、団体の表彰を行うものです。今回は、学校教育では2つの学校と2名の先生、社会教育では2つの団体が表彰を受けています。残念ながら石狩市の該当は、ありませんでした。

(徳田委員長) 他に質問等がないようですので、教育長報告を了解ということでよろしいでしょうか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、教育長報告を了解しました。

(徳田委員長) 以上で、日程第3 教育長報告を終了します。

日程第4 報告事項

(徳田委員長) 日程第4 報告事項を議題とします。

① 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

(徳田委員長) 報告事項の①平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、事務局から説明をお願いします。

(千葉参事) 報告事項①平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、ご報告します。調査の目的については、3点記載しております。今年度は、全国悉皆調査となり、全小中学校で調査を実施しております。調査の内容は、児童生徒に対する調査では、小学校8種目、中学校9種目の実技に関する調査と質問紙調査で、これに加え、学校に対する質問紙調査もあります。調査の方式は、全小中学校で実施し、文部科学省が結果を集計し、その結果を基に市教育委員会が分析を行ったところです。調査期間は、平成25年7月末までの期間で実施されております。3頁から調査結果になりますが、小学校では、体格と肥満度に関する調査の結果では、男子・女子ともに身長・体重・座高とも昨年度を下回っているものの、全国平均を上回っています。肥満傾向児・痩身傾向児の出現率については、男子は増え、女子は減少して、「正常」の割合が増えています。なお、表中の網掛け部分は、当該年度の全国平均を上回った数値、下線が引かれている部分は、平成24年度を上回った数値を示しています。4頁は、実技調査の結果となります。各種目の結果を得点化し、合計得点を出していますが、男女とも体力合計点の平均は、残念ながら昨年度を下回りました。多くの種目で全国平均を下回っていますが、男子については、8種目の内、「上体起こし」と「20mシャトルラン」の2種目で昨年度を上回り、「握力」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」の3種目で全国平均を上回ることができました。女子についても、「上体起こし」、「立ち幅とび」の2種目で昨年度を上回り、「握力」、「ソフトボール投げ」の2種目で全国を上回りました。続きまして、5頁の児童質問紙調査についてで

す。朝食の摂取状況については、「毎日食べる」と回答した割合は、昨年度と比べ、男子では3.8ポイント上回り、女子で3.5ポイント下回る結果となりました。しかし、「毎日食べる」、「時々食べない」を合計すると相当の割合を占めています。テレビ視聴時間についてですが、1日のテレビ等の視聴時間は、「3時間以上」と回答した割合は、昨年度に比べ、男子では11.9ポイント下回りましたが、女子では8.7ポイント上回りました。いずれも、数字の所は、3時間以上と回答した児童について、記載していますが、依然としてテレビの視聴時間が多いという傾向には違いはありません。6頁は、運動習慣についての状況です。「運動部等の所属」とは、小学校では、運動部は基本的にありませんので、少年団等の組織への所属とお考えいただきたいのですが、昨年度と比べ男子では4.0ポイント下回り、女子でも12.6ポイント下回った状況となっています。一方、運動やスポーツの実施頻度は、「ほとんど毎日」実施していると回答した割合は、昨年度と比べ、男子では14.5ポイント上回り、女子でも18.3ポイント上回っています。男女とも、運動やスポーツの実施頻度が高いほど、体力合計点が高い傾向には、変わりありません。6頁下にグラフがありますが、「ほとんど毎日」と答えた児童のほうが、体力の合計点が高いことが分かります。男子の「時たま」、「しない」と答えた値の棒グラフがないのは、標本数がかなり少ないことにより全ての集計要素が揃っていなかったためにグラフとして現れていないところです。次に、運動やスポーツに関する意識について、男女とも運動やスポーツをすることが「好き」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向にあります。7頁下のグラフから分かります。続いて学校質問紙調査についてです。体育の授業以外で体力向上に係る取組を継続的に実施している学校の割合は、昨年度と比べ20.3ポイント上回り、全国との差も減少しています。また、児童の運動習慣を確立する手だてを「している」と回答した割合は、昨年度と比べ7.1ポイント上回り、全国との差も減少しました。具体的な手立てとしては、「休み時間などに運動時間を設定」が全国とも共通して多くの学校で実施されていますが、「児童や保護者へ働きかけ」、「地域連携で運動やスポーツ機会」等については、石狩市の特徴的な取組と言うことができます。これは、9頁上のグラフに現れていると思います。次に、運動する時間の少ない児童への対応についてです。運動実施時間の少ない児童に対する取組については、全国と比べて23.5ポイント上回りました。中でも、授業での実践を通した、児童の意欲の向上や意識改革に多くの成果が見られたと、多くの学校で回答しています。10頁からは、中学校になります。中学校生徒の体格と肥満度に関する調査の結果については、男女とも全国平均を上回っています。また、男女とも痩身傾向と肥満傾向の出現率が高い傾向が続いています。実技調査の結果ですが、男女とも体力合計点の平均は、全国平均を下回りましたが、いくつか上回るものもあります。男子の結果は、「上体起こし」、「長座体前屈」、「20

mシャトルラン」の3種目で昨年度を上回り、「握力」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」の3種目で全国平均を上回っています。女子の結果は、「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「立ち幅とび」の5種目で昨年を上回り、「握力」については、全国平均を上回っています。次に、生徒質問紙調査の結果ですが、朝食の摂取状況、睡眠時間の状況については、記載のとおりです。テレビ等の視聴時間についてですが、「3時間以上」と回答した割合は、昨年度と比べ男子では6.2ポイント下回りましたが、女子では3.7ポイント上回りました。また、全国平均と比べると、いずれも上回り、男子は10.4ポイント、女子は17.0ポイント上回った状態で、依然テレビ等の視聴時間の長い傾向が続いています。続いて運動習慣の状況についてです。運動部やスポーツクラブへの所属の状況は、全国平均と比べ男子では8.4ポイント、女子でも3.0ポイント下回っています。運動やスポーツの実施頻度について、「ほとんど毎日」と回答した割合は、昨年度と比べ男子では9.6ポイント、女子でも6.4ポイント上回っています。また、全国平均と比べては、まだ下回っている状況が続いています。なお、小学校と同様に運動実施頻度が高いほど、体力合計点が高い傾向が見られています。続いて14頁は、運動やスポーツに関する意識についてです。下のグラフになりますが、やはり、運動やスポーツが好きなほど、体力合計点が高い傾向が小学校同様に見られています。次に、学校質問紙調査の結果ですが、体育・保健体育の授業以外での体力向上に係る取組について、保健体育の授業以外で体力向上に係る取組を継続的に実施している学校の割合は、昨年度と比べ3.6ポイント下回り、全国平均と比べ9.4ポイント下回っています。また、生徒の運動習慣を確立する手立てを「している」と回答した割合は、昨年度に比べ42.8ポイントと大きく下回り、全国平均と比べても、32.9ポイント下回る結果となりました。また、運動習慣を確立する具体的手立てとしては、全校で「運動部活動への参加促進」を実施しておりました。ここについては、大きな課題があるという認識をしており、各学校にも取組の強化をお願いしていく考えています。16頁になりますが、運動する時間の少ない生徒への対応です。運動実施時間の少ない生徒に対する取組については、昨年度と比べて10.0ポイント下回り、全国と比べて2.0ポイント上回っている状況です。効果の大きかった取組としては、「授業で個人差考慮の段階的な指導」、「授業で意欲・関心を高める」、「授業で運動の楽しさを感じさせる」などで、特に「授業での配慮」が特徴的なものとなっています。以上です。

（徳田委員長）ただいま、事務局から説明がありましたこの件について、ご質問等ありませんか。

（松尾委員）依然としてテレビの視聴時間が長いということで、一概にテレビ全てが良くないということではないのですが、時間というのは、当然限りがあるも

のなので、これだけの長い時間テレビを見ているとなると、やはり、その時間分は他のことをできないわけで、ここの部分は、課題だと思います。家に帰ってからの話なので、本当に生活習慣の所になりますが、何か戦略的なアプローチも含めて考えていかなければならないという感想を持ちました。また、15頁の運動習慣の確立の所で、かなり昨年と比べるとパーセンテージが「している」と「していない」がほぼ逆転をしているというくらい数字が変動しているので、ここについては、何か大きな変化があったのか伺います。

（千葉参事）始めに、テレビの視聴時間についてですが、小学校については、5頁下をご覧いただきたいのですが、平成24年度と比べて、3時間以上と答えた児童は、小学校男子では、大きく改善しています。女子は、22.3ポイントから31.0ポイントと増えている傾向にあります。このことは、全国学力・学習状況調査の児童質問紙でも同様に若干の改善傾向が見られております。これは、様々な取組、生活習慣の表や家庭学習の取組ということで、放課後の家庭での取組を意識化させて具体的な対応をしているということが、一つ言えるかと思います。ただ、学習状況調査の際も話をしましたが、テレビゲームの実施時間もかなり長いということがあります。ですから、テレビ及びテレビゲームを含みますが、そういうものを併せた対策を現在検討して進めている状況であります。いずれにしても、この課題については、校長会の中でも市の課題として既に伝えているところありますので、今後とも具体的な取組を進めていきたいと思っています。次に、15頁の中学校における運動習慣を確立する手立てについてですが、かなりこの数字が下がっていることは、先ほども申しましたが、事務局としても問題視をしています。ただし、具体的に何かの手立てがされなくなったとか、そんな風には考えていません。どちらかという取組はしているのですが、全体の体力向上の取組として意識されていないという状況があるという風におさえています。具体的に言いますと、昼休みの体育館開放における子どもたちの遊びの促進、体力づくりの促進、あるいは、行事前の子どもたちの自主的な練習などの取組は、これまでと同様になされているものだと思いますので、学校トータルとして体力の向上をどう位置付けているか、どのように推進していくのかということをしっかり意識して、学校経営に当たっていただくよう伝えていきたいと考えています。

（松尾委員）テレビの部分については、色々調査研究もされているということなので、是非継続してほしいと思います。学校の回答については、取組が実際そんなに大きく変わっていない中で、回答が変わってきているということであれば、やはり、回答をされる担当者の方も常に同じ方ではないと思いますので、同じような現状があれば同じような答えが返ってくるというのが望ましいと思いますので、そう意識してもらうよう、調査を実施する際に、一定程度の配慮があると良いと思います。

（徳田委員長）テレビの視聴時間が長いことについては、私も常々何とか改善できないのかと思っております、事務局あるいは、学校でも色々のご努力いただいていると思いますが、私たちも何か、もう少し議論をして、例えばこういう方法はどうかなど、知恵を出すような形で、それが可能であれば推進していただくようなことも今後考える必要があるのかなと思います。これは色々な問題が絡んでくるとは思うのですが、できるだけ、全体で努力をするようにできれば良いと感じております。

（松尾委員）先ほど、私が戦略的アプローチと申し上げたのは、まさに委員長のおっしゃったことと同じ考えからでして、私もそのようにイメージしていますので、例えば、少し調査研究をしてみることや事例を集めるなども含めてやっていても良いのではないかと思います。

（門馬委員）お二人がお話していたことについて、学力、体力のいずれも生活習慣と密接に関わりがあるということは、様々な調査から言われていることですが、学校の先生方ができることの限界というものがあると思います。生活習慣となると学校を終えて、次の日に学校に出て来るまでの間というのは、家庭生活となりますが、この時間にテレビやゲームということが行われるわけで、学校以外の生活の場を、つまり、子どもの家庭生活を保護者が一体どう捉えているのか、どうしようとしているのかという視点がきっと欠かせないのだろーと思います。また、これが一番難しい所でもあって、保護者の考え方を知るといいますか、理解をして保護者とともに取り組まないと、これは学校の努力だけでは、どうにもならないのかなという気がしています。そして、一番難しい所ではないかとも思います。ただ、それを何とかしていかなければならないわけですので、保護者の意識を知ることにも必要ではないかと思います。うまく表現できないのですが、私たちだけではなかなか解決できない、社会全体の動きというものもありますよね。ゲームソフトを開発する会社は、これを一生懸命売りたいわけですし、子どもたちにとっては、非常に魅力的なものですよね。それに負けないような、例えば、身体を動かすことは、こんなに楽しいことなのだと子どもたちに知らしめるのも非常に大切なことだと思います。それにはどうしたら良いか、私たちが検討していかなければならないと思います。

（徳田委員長）先日、教育委員の研修会に参加しましたが、講師の方が、子どもたちの体力は、昭和60年がピークで、それ以降は、落ちてきていて、その原因について、テレビゲームの影響ではないかと話していました。私もちょうど思い浮かべると、ファミコンが任天堂から発売されたのが、昭和58年で、60年度をピークに体力が落ちていくとなると、発売から普及するまでの時期とちょうど重なっているような気もしています。テレビを見ること、ゲームをすることの全てが一概に悪いというわけではないと思いますが、できるだけ制限された時間の

中でやれるような形が望ましいので、家庭でのご両親の方々のご理解をいただくことも勿論必要ですし、色々な角度から私たちも考えてみるのも良いのかと思い、先ほどお話をしました。少し知恵を絞ってみては、いかがでしょうか。

（松尾委員）私自身が、委員長がおっしゃったファミコンが出回ってきた頃に、まさに子ども時代を過ごしておりましたので、実感として分からないわけでもありません。門馬委員がおっしゃったように、学校も全く関連しないわけではないのだけれど、主に家に帰ってからのことなので、それぞれの家庭にどうアプローチをしていくかという問題は欠かせないと思います。その部分を含めて考えていかなければならない、そんなに簡単な話では勿論ないと思いますが、何か良い知恵がないかなと思っています。

（山本委員）私の家の話で恐縮ですが、私は、職場と自宅が一緒なので、親がいる家ということで、割と小学生の子どもが集まるのです。そこで、子どもたちを見ていると、皆がゲーム機を1台ずつ持って来ていて、放っておくと、狭い部屋にたくさん集まって、ずっとゲームをしています。とにかく天気の良い時は、外に行きなさいと無理やり外に出すのです。そうすると、最初は文句を言いながら外に出ていくのですが、出てさえくれば、後は帰宅時間ギリギリまで帰って来ないくらい喜んで遊んでいます。何かきっかけさえあれば、そっちの方が楽しいということが分かって、身体を動かすように遊べると思います。そのきっかけ作りですね。最近では、親のほうも、子どもにゲーム機を持たせておけば、おとなしくしてくれるし、例えば、家族での外食時などは、親が飲食している間、子どもは、ずっとゲームで遊んでいるとすれば、親としては、楽だということもあるのではないのでしょうか。それが社会全体の感じになってきているので、本当に親を指導しなければという感じの世の中であると思います。何かきっかけがあれば、変れるのかなと思うのですが、私自身、小さい頃は、おっとりしていて、体育が苦痛でしようがなかったほうで、跳び箱やボール運動という、もう嫌で、それが理由で学校を休みたいと思うほど嫌だったのですが、そこを少し段階的に指導していただいて、低い跳び箱でも良いから、ボールでも低レベルのことでも「できた」ということ、楽しいのだということを感じさせてもらえれば、自分にもできるのだ、今度は、家でもがんばってみようかなと思えるようになると思うのです。学力でも体力でも先生の人数さえいれば、個別に指導して段階的にできない子でも、できないなりに、ちょっと楽しいと思わせるような指導をしてもらえれば、もう少し次の段階まで伸びるのにと感じるのです。花川小の学力向上策のような個別指導を他の学校も含め、体育など色々な所でも応用できれば、もっと伸びるかなと思います。

（徳田委員長）その時にサポートできるのは、地域のボランティア、特に仕事を退職した高齢者等は、多分余裕があると思いますので、色々な形で、そのような

システムを何か進めていけば、少しずつですが、子どもたちが外で遊べるようなことも可能かと思えますし、学力をつけることも可能かと思えます。これは、色々な角度から進めないと解決しない問題だと思います。多分、家庭でテレビを見たりゲームをする時間を制限してくださいという願いは、これまでも、機会あるごとに、お伝えしてこられたと思いますが、端的に、例えば、テレビ視聴時間が長い人は、総体的に学力、体力とも低くなる傾向にあるという相関関係を分かりやすく図示などしながら、もう一度、各家庭に伝えてお知らせするという必要だと思えます。多分、文章的なものでは、願いをしてきたと思うのですが、それが、保護者に十分に伝わっているのかという所があるかと思えます。

（松尾委員）どんなアプローチがあるのかという点も含め、様々な研究成果や各地の事例などがきっとあるのだらうと思えますので、先ずは情報収集みたいことが必要ではないかと思えます。

（徳田委員長）他に質問等がないようですので、報告事項①を了解ということでよろしいですか。

異議なし

（徳田委員長）ご異議なしと認め、報告事項の①を了解しました。

（徳田委員長）以上で、日程第4 報告事項を終了します。

日程第5 その他

（徳田委員長）日程第5 その他を議題とします。事務局から何かございませんか。

① 第26回石狩市公民館まつりの開催について

（東課長）第26回石狩市公民館まつりの開催について、報告します。今年も各団体の一年間にわたる学習の成果の発表の場として、3月15日土曜・16日日曜の2日間、公民館まつりが開催される運びとなりました。参加団体については、昨年同様28団体です。内容については、手づくり市や文芸、写真の展示、食事処、喫茶などが用意されるほか、合唱団やトーンチャイムなどのステージ発表が

予定されています。委員の皆様におかれましては、ご多用とは存じますが、お時間をみつけて、足を運んでいただけましたなら幸いと存じます。以上です。

（徳田委員長）ただいま、事務局から説明がありましたこの件について、ご質問等ありませんか。

（門馬委員）昨年も申し上げましたが、公民館への道路状況が悪いという部分は、確か今年は、良くなったのですよね。

（東課長）申し上げにくいのですが、駐車場の部分については、特に手が入っているわけではありませんで、入り口の部分について、今までのように工夫させていただきたいと思います。その時期の天候や雪の溶け具合はあるのですが、そのような状況です。

（門馬委員）以前に、委員長が、別の会合で道が悪いということをお話しなさっていましたよね。少しずつ工夫してくださっていますね。

（徳田委員長）入口の所は、橋を渡して、そこを通らないと入れないような状態でした。

（徳田委員長）他に質問等がないようですので、この件を了解ということによろしいですか。

異議なし

（徳田委員長）ご異議なしと認め、本件を了解しました。

② インフルエンザによる学級閉鎖等について

（蛭谷課長）インフルエンザによる、学級閉鎖、臨時休業等について報告します。現時点の状況ですが、市内小学校5校が、学級閉鎖あるいは学年閉鎖となっています。内訳は、学年閉鎖が3校、学級閉鎖が2校です。中学校では、1校で学年閉鎖となっています。閉鎖の期間については、16日日曜日までの学校が5校、17日月曜日までの学校が1校となっています。以上です。

（徳田委員長）ただいま、事務局から説明がありましたこの件について、ご質問等ありませんか。

（徳田委員長）質問等がないようですので、この件を了解ということによろしい

ですか。

異議なし

(徳田委員長) ご異議なしと認め、本件を了解しました。

(徳田委員長) 教育委員の皆さんから何かございませんか。

なし

以上で、日程第5 その他を終了します。

日程第6 次回会議の開催日程

(徳田委員長) 日程第6 次回会議の開催日程を議題とします。

(徳田委員長) 次回については、3月27日の木曜日、13時00分からの開催を予定しております。よろしくお願い申し上げます。

(徳田委員長) 以上をもちまして、公開案件は終了します。非公開案件の説明員以外の方は、ご退席願います。

【非公開案件の審議等】

11時 5分～11時38分

閉会宣告

(徳田委員長) 以上をもって、2月定例会の案件は、全て終了いたしました。以上で、平成25年度教育委員会会議2月定例会を閉会いたします。

閉 会 午前11時38分

【非公開案件の審議等の結果】

議案第 2 号 石狩市社会教育委員条例の一部改正について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

議案第 3 号 平成 2 5 年度一般会計補正予算（第 7 号補正）について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

議案第 4 号 平成 2 6 年度教育行政執行方針について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

議案第 5 号 平成 2 6 年度一般会計予算について

原案どおり可決した。(質疑等省略)

報告第 1 号 教職員の処分（結果）について

了解された。(質疑等省略)

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 2 6 年 3 月 1 1 日

委員長 徳 田 昌 生

署名委員 松 尾 拓 也